

市長と話そう！
令和8年度 市政懇談会
～あつやトーク～

令和8年7月
夕張市

これからの夕張について

本日の説明内容

本日は、現在策定を進めている夕張市総合計画等を中心に、これからの夕張についてご説明します。

【ご説明する内容】

①なぜ今、新しい総合計画をつくるのか

- ・総合計画策定の趣旨／計画の位置付け

②現状を知り、課題について考える

- ・夕張市の概要・現状分析
- ・市民アンケート調査結果
- ・課題と方向性

③これから目指す姿

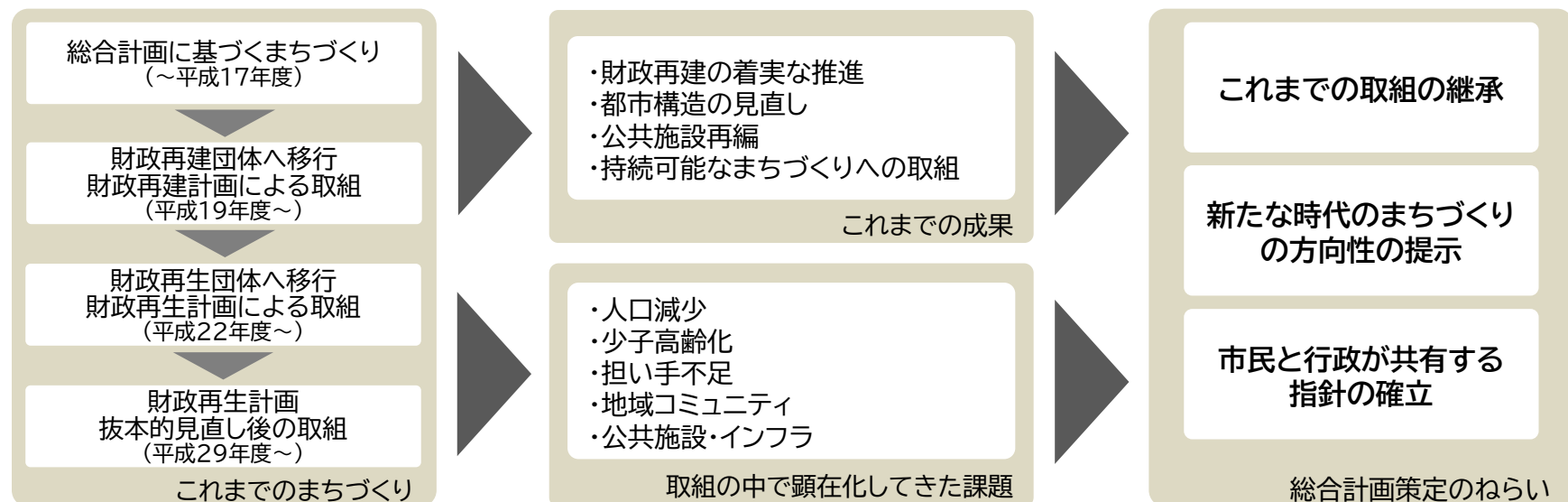
- ・夕張市総合計画の基本構想(案)
- ・策定委員会における意見
- ・夕張市総合計画／総合戦略の構成(案)

④今後の予定

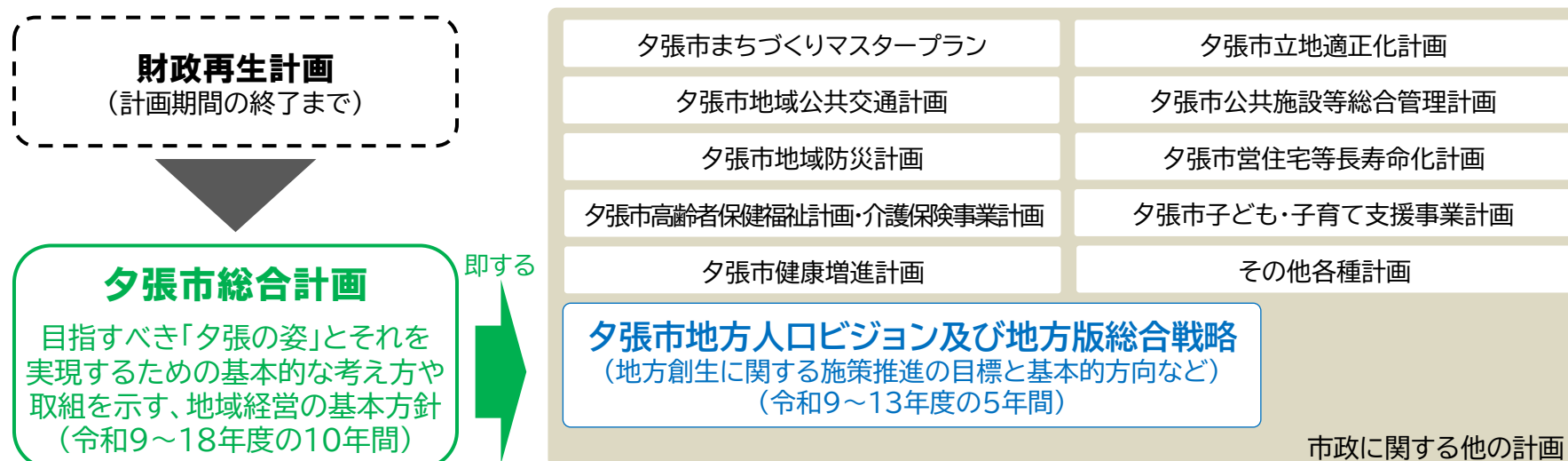
- ・計画策定のスケジュール

総合計画策定の趣旨／計画の位置付け

総合計画策定の趣旨



計画の位置付け



夕張市の概要・現状分析

夕張市の概要・現状分析

人口

昭和35年の107,972人をピークとして減少を続け、令和2年には7,334人と**急激な人口減少が進行**
社人研推計によると、今後も人口は減少を続け、令和32年には2,154人となると予測

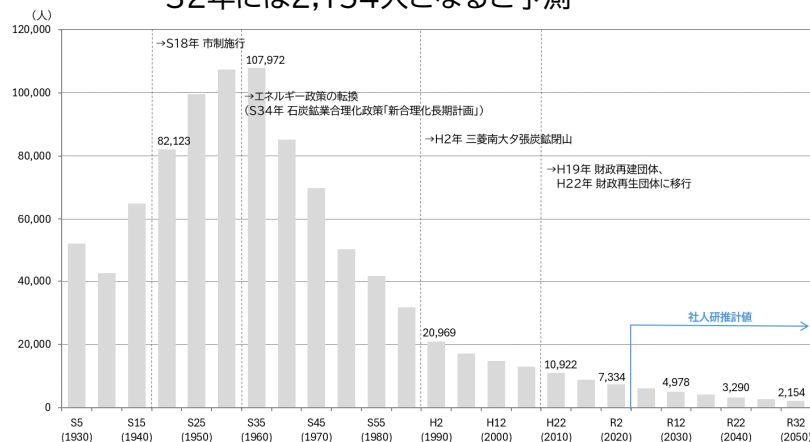


図 総人口の推移

産業・雇用

現在の産業構造は**第三次産業を中心とした構成**

就業者数の構成比は第三次産業が大半を占める一方、北海道全体の産業構造と比較して、第一次産業の割合が高い

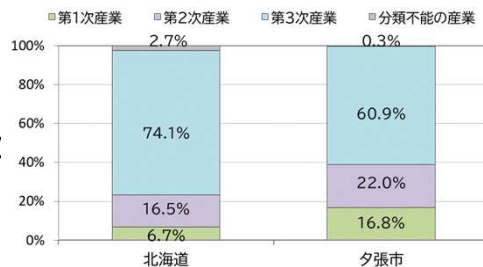


図 産業別就業数の構成比 北海道との比較

地域コミュニティ

人口減少や少子高齢化の進行等により、**地域コミュニティ活動の参加者は減少傾向**にあるとともに、**施設運営者の高齢化が進行**

生活サービス

交通：平成31年にJR石勝線夕張支線が廃止、路線バスも減便傾向
買物：日用品以外の耐久消費財などは市外で購入されることが多く、市内の商業機能は減少傾向

医療：新たな市立診療所が令和5年9月から供用を開始

教育：令和6年度より小中一貫教育を本格的に導入

土地利用・都市構造

土地利用状況：保安林を含む「その他」が最も多くの面積を占有

都市構造：**南北に長く市街地が分散**

表 夕張市の土地利用

	田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他	総面積
面積 (ha)	83	968	511	140	4,855	0	659	911	68,179	76,307
	0.11%	1.27%	0.67%	0.18%	6.36%	0.00%	0.86%	1.19%	89.35%	100.00%

公共施設インフラ

市内に点在する**公共施設や道路・橋梁・上下水道**といった**インフラの老朽化が進行**
土木や上下水道等の技術者が不足

行財政運営

歳入総額は約110～135億円、歳出総額は約107～132億円の間に推移

財政力指数は**0.18～0.21**の間で推移しており、全国の市町村および北海道の市町村平均に比べて低い

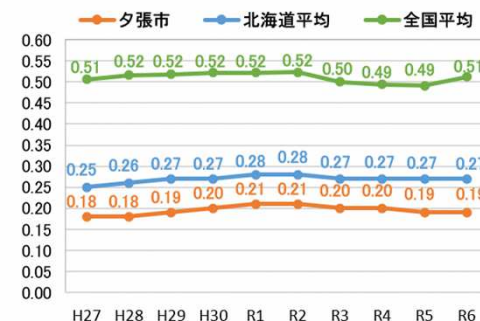


図 財政力指数の推移

総合計画等に関する市民アンケート調査結果

対 象：無作為抽出した約1,000人の18歳以上の夕張市民。
 回答数：261票（回収率25%）
 設 問：暮らしの満足度、市の取り組み、今後の居住意向など
 時 期：令和7年8月。
 備 考：中学生・高校生へは暮らしの満足度や進学意向などを別途調査。

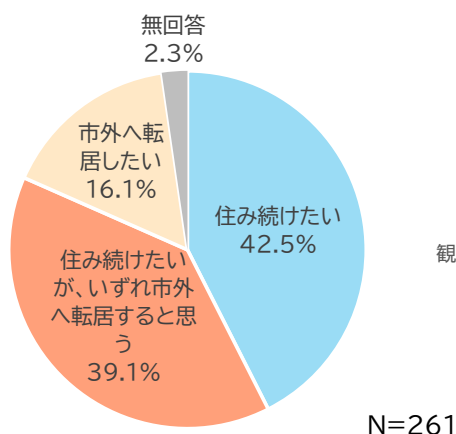
集計結果(一部)

評価が高い項目(=そう思う)

- ① 空気や水が澄んできれい
- ② 身近に自然を感じる
- ③ 自宅周辺が閑静(騒音に悩まされない)
- ④ 自宅に心地いい場所がある
- ⑤ 自慢できる自然景観がある

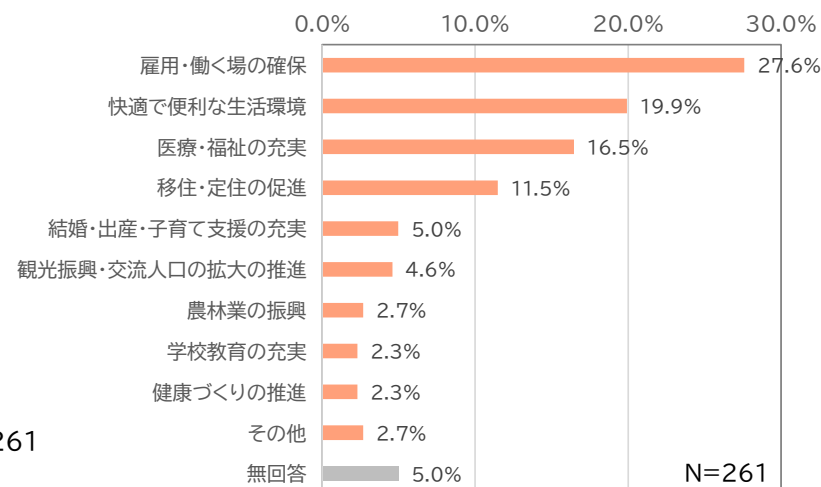
評価が低い項目(=そう思わない)

- ① 楽しく過ごせる娯楽施設がある
- ② 飲食を楽しめる場所が充実している
- ③ 公共交通が便利である
- ④ 日常の買い物にまったく不便がない
- ⑤ 医療機関が充実している



「生活環境の評価」

「今後とも夕張市に住みたいか」



「優先すべき政策分野」(複数選択可)

クロス集計分析※の結果(一部)

※設問の関係性を分析したもの。単純な傾向比較から多変量解析まで含む。

夕張市に住み続けたい人が抱えている不満

- 【生活環境】学校への通学が不便
- 【行政運営】行政サービスのデジタル化が進んでいない
- 【協働】自分のことを好ましく感じない
- 【雇用】適切な収入を得るための機会がない

市民の幸福度(Well-being)に寄与するまちのあり方

- 【子育て】市内に住む子どもたちがいきいきと暮らせるまち
- 【行政運営】市役所が地域のことを真剣に考えているまち
- 【まちづくり】地域の雰囲気が心地よいまち
- 【インフラ】他に自慢できる都市景観があるまち
- 【協働】地域の人たちをお互いに信頼しているまち

課題と方向性

課題と方向性

夕張市の現状分析結果

人口

産業・雇用

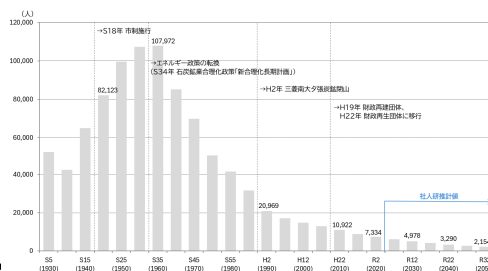
地域コミュニティ

生活サービス

土地利用・都市構造

公共施設・インフラ

行財政運営



人口減少・少子高齢化
各機能の低下
施設等の老朽化

市民アンケート調査結果

生活環境の評価

<評価が低い項目>

→公共交通の利便性、医療機関の充実など

今後の居留意向

住み続けたい:42.5% いずれ転居:39.1%
転居したい:16.1%

優先すべき政策分野

1位:雇用・働く場の確保
2位:快適で便利な生活環境 ...

夕張市に住み続けたい人が抱えている不満

【生活環境】【行政運営】【協働】【雇用】

市民の幸福度（Well-being）に寄与するまちのあり方

【子育て】【行政運営】【まちづくり】【インフラ】【協働】

人口構造の変化への対応

暮らしを支える生活サービス
機能の維持・向上

地域を支える主体の
維持・確保

持続可能な地域経営の
実現

現状分析と市民ニーズから見える課題

コンパクトシティの推進

地域資源を活かした地域活性化

持続可能な地域経営

今後のまちづくりの方向性

夕張市総合計画の基本構想（案）

理念

「夕張らしさ」＝自然歴史文化の継承

貴重で豊かな自然環境や、夕張の発展を支えた産業遺産及び各地域の強いコミュニティ・きずなといった歴史文化などを踏まえた、市民1人1人が想う「夕張らしさ」を大切に考え、その想いを次世代へ受け継いでいきます。

夕張での暮らしを通じた幸福の実現

市民の健康や福祉、幸福の実現が大切だと考え、健康的な生活環境の整備や社会的つながりの強化、教育と文化の充実などにより、誰もが夕張での暮らしに幸せを感じることが出来る(Well-beingが向上する)まちを目指します。

まちの将来像

小さくても、みんながよりそい暮らしていけるまち 夕張

人口減少や少子高齢化が進む中であっても、市民一人ひとりが地域への誇りを持ち、互いに支えあいながら安心して暮らし続けられるまちづくりに挑んでいきます。
地域資源をいかした魅力あるまちづくりと未来を支える基盤づくりを進め、市民がこれからも暮らし続けたいと思える夕張を築いていきます。

まちづくりの柱

コンパクトシティの推進

人口減少を前提とした持続可能なまちづくり

- （施策分野）
- ・都市拠点の形成
 - ・生活サービスの集約
 - ・公共交通の維持・確保
 - ・公共施設の再編

地域資源を活かした地域活性化

「夕張らしさ」を活かしたまちづくり

- （施策分野）
- ・観光、農業、林業等の地域産業の振興
 - ・歴史資源の活用
 - ・文化、スポーツ等を通じた交流の促進

持続可能な地域経営

まちを未来へつなぐ仕組みづくり

- （施策分野）
- ・適切な行財政運営
 - ・効率的・効果的な公共施設管理
 - ・DXの推進
 - ・市民・事業者等との連携・協働
 - ・関係人口の拡大
 - ・広域連携の推進

夕張市総合計画の基本構想（案）



策定委員会における意見

【策定委員会における意見】

7月6日、夕張市総合計画等の策定委員会が開催され、基本構想案を示したところ、委員の皆様から以下のようなご意見をいただきました。

理念や将来像をはじめ、全体的に前向きな表現を入れたほうがよいのではないかな。

市民の方々にも理解いただけるような理念や将来像を掲げてほしい。

まちづくりの柱にある「コンパクトシティ」という言葉を、その考え方がわかるような表現にしてはどうか。

理念や将来像には、市民とともに進んでいくメッセージを掲げてはどうか。

人間関係の良さは夕張の大きな魅力であり、その魅力が理念や将来像に反映されるとよい。

まちづくりの柱の「持続可能な地域経営」は、市民と寄り添い進めていくことを表現する言葉がよいと思う。

【意見を受けての対応】

理念や将来像の表現、市民とともに歩いていくメッセージの伝え方など、委員の皆様からいただいたご意見を参考にしながら、多くの皆様にご理解いただき、一緒に歩んでいただけるような基本構想となるよう、見直しを進めています。

夕張市総合計画／総合戦略の構成（案）

夕張市総合計画

基本構想(令和9～18年度の10年間)

理念

「夕張らしさ」＝自然歴史文化の継承
夕張での暮らしを通した幸福の実現

まちの
将来像

小さくても、みんながよりそい暮らしていけるまち 夕張

まちづくり
の柱

コンパクトシティ
の推進

地域資源を活か
した地域活性化

持続可能な
地域経営

基本方針

基本方針1【子育て支援・教育・文化】
豊かな人と文化が育つまち

基本方針2【医療・福祉・スポーツ】
誰もが健康でいきいきと輝けるまち

基本方針3【産業・雇用】
夕張らしく活力あるまち

基本方針4【生活環境】
安心安全に暮らし続けられるまち

基本方針5【行政運営・地域コミュニティ】
支えあって未来につなぐまち

前期基本計画
(令和9～13年度)

基本方針1に基づく
具体的な施策

基本方針2に基づく
具体的な施策

基本方針3に基づく
具体的な施策

基本方針4に基づく
具体的な施策

基本方針5に基づく
具体的な施策

夕張市地方人口ビジョン及び地方版総合戦略

人口ビジョン

基本姿勢

人口減少傾向を直視しつつ、それを楽観するのでも悲観するのでもなく、市民が安心して住み続けられるまちを目指すことで、結果的に人口減少を多少なりとも緩やかにしていく。

将来人口の推計値

2050年の将来人口:2,154人
(国立社会保障・人口問題研究所の推計より)

地方版総合戦略
(令和9～13年度の5年間)

コンパクトシティの推進

- ① コンパクトシティプロジェクト【都市機能整備】
- ② ゆうばり住まいるプロジェクト【住環境整備】
- ③ 生活交通確保プロジェクト
- ④ みどりづくりプロジェクト【公園再編】

地域資源を活かした地域活性化

- ① 夕張ブランド農業プロジェクト
- ② 地域資源活用型観光推進プロジェクト
- ③ 起業・しごとづくりプロジェクト
- ④ 交流・関係人口創出プロジェクト

持続可能な地域経営

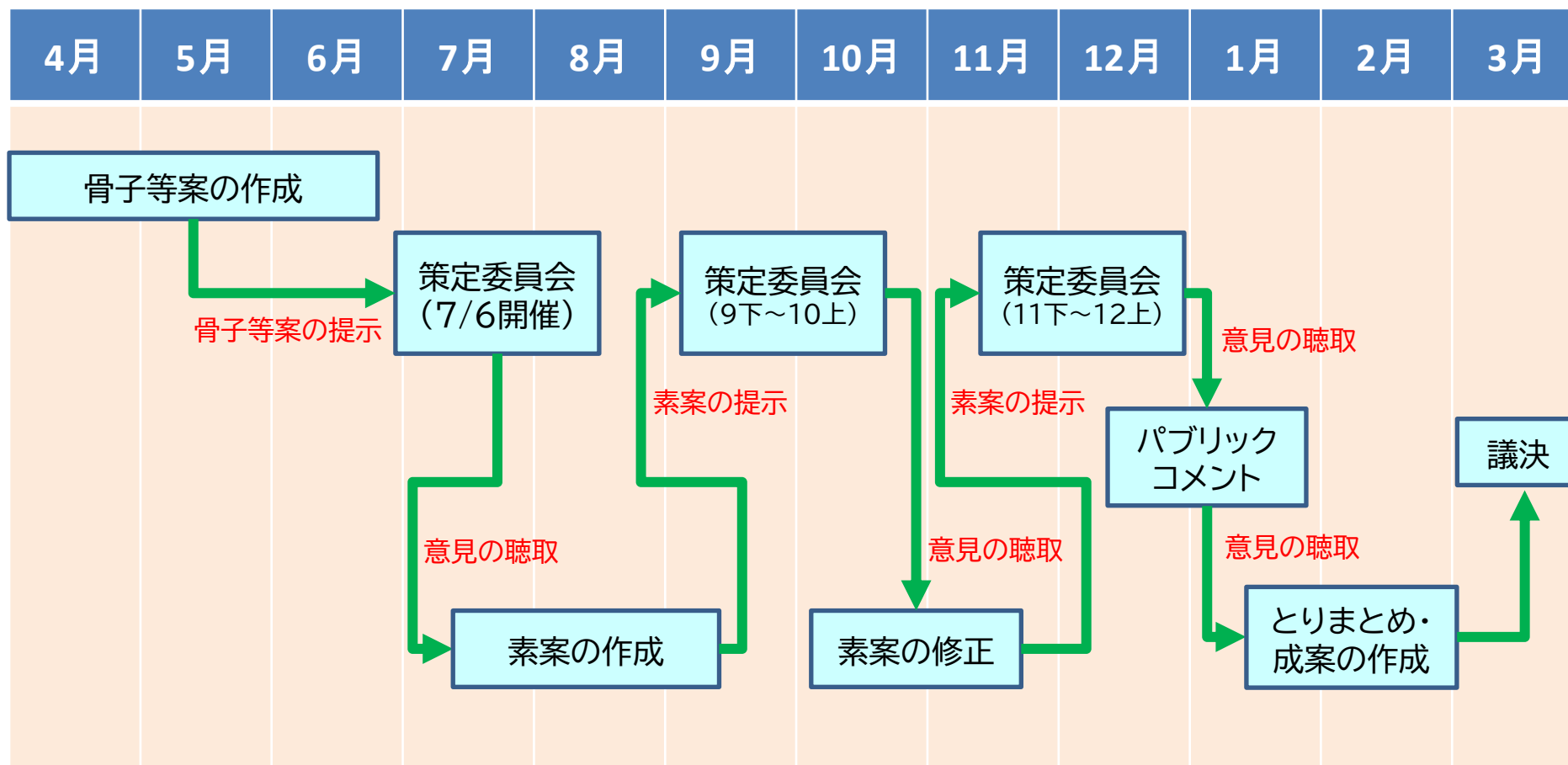
- ① 夕張高校魅力化プロジェクト
- ② 健康寿命日本一プロジェクト【医療・福祉】
- ③ ゆうばりっこ応援プロジェクト【子育て・教育】
- ④ 地域コミュニティプロジェクト
- ⑤ ゆうばりDX化プロジェクト

※上記、プロジェクト名及び内容は
現時点での案です。

計画策定のスケジュール(令和8年度)

令和7年度の進捗状況を受け、令和8年度の計画策定のスケジュールは以下のとおりとしております。

【令和8年度】(夕張市総合計画、夕張市地方人口ビジョン及び地方版総合戦略 共通)



これからの夕張の教育について

令和8年夏 市政懇談会【あつやトーク】

これからの夕張の教育

今の実践が
未来のスタンダードを創っている！

夕張市教育委員会 教育長

有村 宏紀

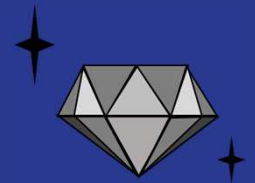


こどもまんなかの
「こどもを主語」とした教育による
「教育のまち、夕張」の実現

小中一貫教育教育 3 年目の覚悟！



夕張市の教育の **一丁目一番地**



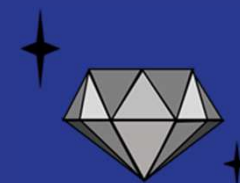
小中一貫教育教育の重点

R 8 年度からの夕張の教育

9 年間の学びの連続性を重視
～ つなぐ学び ～



つなぐ**教育**



夕張市教育推進計画



-16-

小中一貫教育の充実と子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進

- ・ 探究的な学びの向上
- ・ 教育クラウドツール
- ・ 自立した学習者育成

信頼される学校づくりと地学協働、学びを活かす地域社会の実現

- ・ 地域の風が行き交う学校づくり
- ・ 地域の子どもは地域で育てる夕張の実現

子どもたち一人一人の学びを支え、可能性を伸ばし、誰一人取り残すことのない教育の実現を目指して！

夕張の子どもたちのウェルビーイングのために！

～子どもまんなかの「子どもが主語」の教育による「教育のまち、夕張」の実現～

社会情勢の変化 ○Society5.0時代の到来 ○グローバル化の進展 ○多様化、複雑化する社会 夕張市の現状 ○児童生徒の課題 ・ 学力向上 ・ 不登校傾向の増加 ○市の状況 ・ 財政再生団体 ・ 少子高齢化、人口減少 ・ 夕張高校の存続 ○小中一貫教育の導入 ○地域創生の取組 ○夕張高校魅力化プロジェクト 日本の場合を先例とする「人財」を日本のエネルギーとして輸出する！ ○拠点複合施設としての活用促進、賑わい創出 学習指導要領 令和の「日本型学校教育」 ○育成を目指す資質・能力の三つの柱 ・ 知識、技能の習得 ・ 思考力、判断力、表現力の育成 ・ 学びに向かう力、人間性等の涵養 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現 ○全ての子どもたちが可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現 北海道教育推進計画 ○基本理念～「自立」「共生」 ○施策の柱 ・ 一人一人の可能性を引き出す教育 ・ 地域社会と協働する教育 ・ 持続可能な教育の実現 空知管内の教育推進 R8 重点 「子どもが主語」を実現 【多様な子どもたちの深い学び】 × 【クラウド中心の学びの連続性】 ○空知全体をひとつの学びのキャンパスに ・ 地域連携を推進 ・ 小規模校の強みを最大化 ・ 教員の専門性を共有 ・ 働き方改革と学びの質の向上	1.小中一貫教育の充実と子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進 (1) 小中一貫教育の充実 ●9年間を通じた各教科系統表・教育課程の編成・実施及び一貫性・系統性のある授業の確立 ●探究的な学びを核としながら、自らの学びを調整する資質・能力の向上 ●合同研修、乗り入れ授業、小学校高学年の専科授業の拡充、児童生徒の交流事業等の拡充 ●NRR・全国学力学習状況調査による経年変化の分析と具体的な改善策の構築による学力向上 ●生活規律、健康・安全教育、体力向上策等の連携・協働 ●生徒理解や学級経営、生徒指導上の課題等の交流と引き継ぎの充実 ～教室マルチリトメントの理解～ (2) 「ゆーばりっこ学び育成プラン」による確かな学力の定着と向上 ●デジタル学習基盤のもと、教育クラウドツールを核に、授業支援ツール等 ICT の効果的な活用等による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ～知的好奇心を喚起し、「できる・わかる」の先を求める学びの展開を目指す～ ●マンツーマンオンライン英会話授業と英語教室の活用による英語力の向上とグローバル人材の育成 ●学習アプリ・「ゆーばりサポートオンライン塾」の利用促進等による自立した学習者の育成 ●不登校等の児童生徒の学びの場の確保～オンラインによる授業配信、校内教育支援センターの活用 (3) 「ゆーばりっこ豊かな心と健やかな体の育成プラン」による豊かな人間性と健やかな体の育成 ●発達支援の生徒指導の充実と心理的安全性の高い親和的な集団づくりの推進～QJ を活かした学級経営の推進、ピア・サポートによる教育活動の充実、「SOS の出し方に関する教育」による援助希求的態度の育成、いじめ防止のための児童生徒の主体的な取組の推進 ●支援、相談体制の充実 ～スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの協働～ ●体育の授業及び主体的に取り組む体力づくり運動の展開と健康安全な生活への実践意欲の向上 (4) 特別支援教育の充実 ●一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援の充実と関係機関等との連携・協働の強化 ●「ゆーばりっこ未来ファイル」(R7 改訂)の作成と活用を通じた切れ目のない支援 2.幼保小中高の「つながり教育」の促進と質を高める教育環境の確立 (1) 幼児から高校生まで切れ目のないつながり教育の実現 ●認定こども園・保育園とゆーばり小学校との連携の充実、「架け橋」のカリキュラム開発 ●夕張高等学校、夕張高等養護学校と連携した児童生徒交流や研修等の実施 (2) 小中高一貫ふるさとキャリア教育の推進 ●自分自身を大切に思う、ふるさとを誇りに思う気持ちの育成と地域創生、持続可能な街づくりを目指す教育の展開 ～ゆーばりこども会講座「あつやトーク」の実施など ●総合的な学習（探究）の時間等における小中高の系統的なカリキュラムの編成・実施 ●ゆーばりこどもキャリア・バスポート「明日への架け橋」を活用した指導の充実と、学年間、校種間の確かな引き継ぎ (3) 教師の指導力の向上と働きやすい環境の整備 ●「新たな研修制度」と「教員育成指標」を踏まえた、学び続ける教師の育成 ●「夕張市アクション・プラン」を踏まえ、やりがいを持って教師本来の業務を行うことのできる職場環境の確立 3.信頼される学校づくりと地学協働、学びを活かす地域社会の実現 (1) 信頼される学校の確立 ～心理的安全性の高い教育の推進～ ●社会に開かれた教育課程の編成による「地域の風が行き交う学校づくり」の充実・発展 ●法令遵守や服務規律の厳正な保持について、職員意識の高揚を図る学校を挙げた取組の充実 (2) 学校運営協議会の活動の充実 ●家庭学習支援週間、クリーン day の実施、講演・講習等研修会の開催 (3) 地域学校協働本部、包括連携協定を結んだ企業等との連携、生涯学習の振興 ●地域人材・ボランティアの支援、地域教育資源等の活用～「芸術文化体験教室」「むかし遊び体験授業」、企業・施設・文化財等社会見学の実施、ゲストティーチャーによるふるさと学習の推進、社会教育による「朝活キッズ」「図書まつり」の開催など ～地学協働の充実～ (4) 「夕張市教育の日」(11月1日) 関連週間の位置づけと家庭・地域・行政機関等との協働促進 (5) 安全・安心な教育環境の整備と働き方改革の推進 【目指す12歳の姿】 学ぶ意欲に満ち、自他を尊重しながら、最後までやり遂げる児童 【目指す15歳の姿】 ふるさと夕張に誇りを持ち、他者と協働しながら学びに向かい、新たな価値を創造する生徒
--	---

幼保小中高の「つながり教育」の促進と質を高める教育環境の確立

- ・ 切れ目のない教育
- ・ 小中高一貫ふるさとキャリア教育
- ・ 働き方改革

つなぐ教育

学習指導 + 生徒指導

9年間で育ちを支える



夕張市立学校の一体化

校種の壁 + 文化の違い

協働 × 創造 × 融合



昨年度の大きな成果



合同研修の充実
乗入れ授業実施

自ら学びに向かう
質の高い教育

子どもが主語
を実現する学び

伴走者としての教師

一歩前へ進んだ取り組みで、夕張の児童生徒に確かな学力を
学び 育成プランより

昨年度の大きな成果



絆つくり & 歌声集会
合同ピアサポート

組織的な生徒指導
心に寄り添う教育相談

健やかな体の育成
安心・安全な教育環境

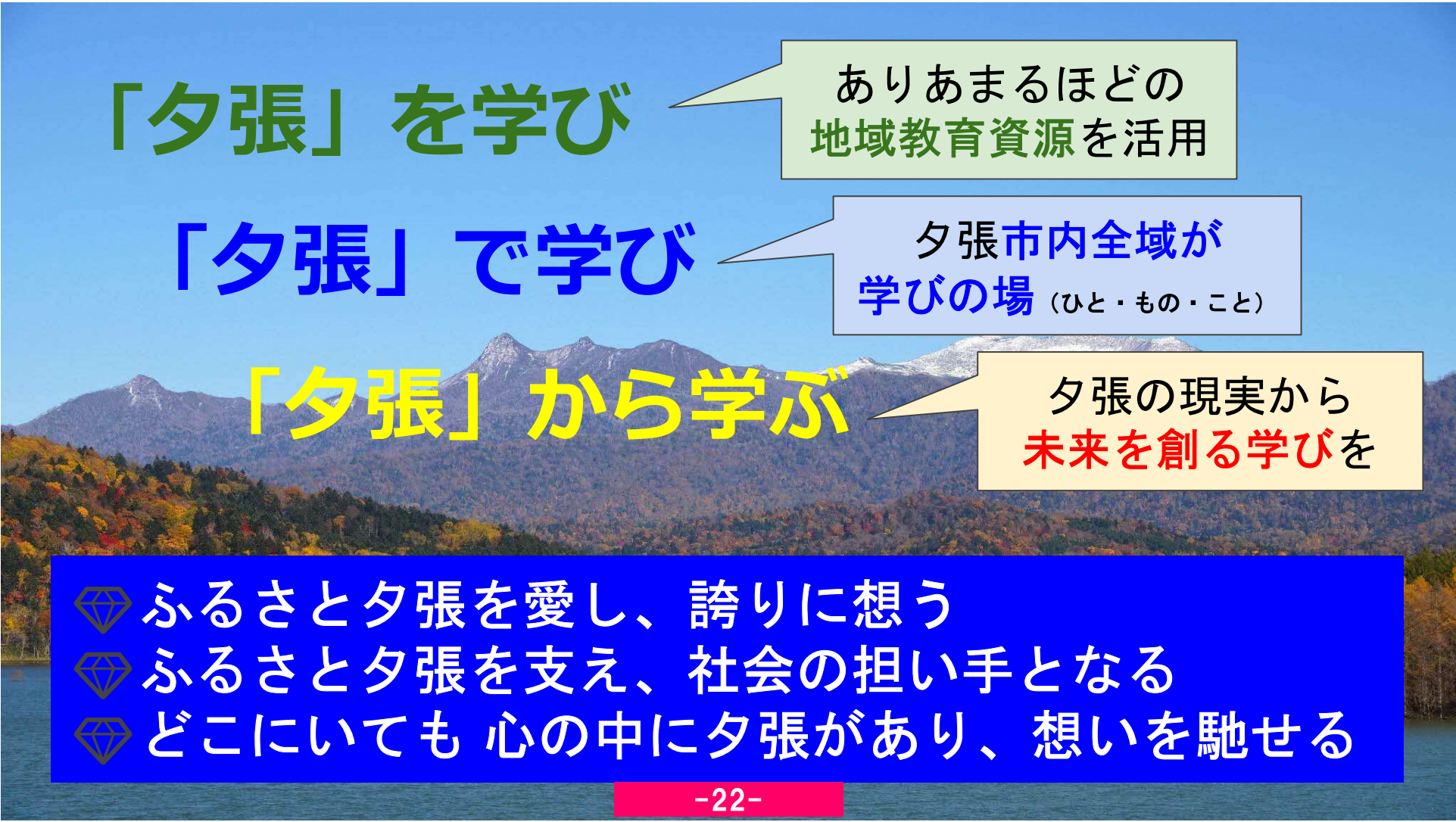
心理的安全性の担保

自分らしさを発揮し、多様な他者を認め合い、共に高めあう子どもたち
豊かな心と健やかな体 育成プランより

子どもたち一人一人の学びを支え、可能性を伸ばし、
誰一人取り残すことのない教育の実現を目指して！

夕張の子どもたちのウェルビーイングのために

 01	【熱量高き15歳】 ふるさと夕張に誇りを持ち 他者と協働しながら 学びに向かい 新たな価値を創造する生徒	 03
【やる気一杯12歳】 学ぶ意欲に満ち 自他を尊重しながら 最後までやり遂げる児童	 02	こどもまんなかの 「子どもが主語」の 教育の実現



「夕張」を学び

ありあまるほどの
地域教育資源を活用

「夕張」で学び

夕張市内全域が
学びの場 (ひと・もの・こと)

「夕張」から学ぶ

夕張の現実から
未来を創る学びを

- ◆ ふるさと夕張を愛し、誇りに想う
- ◆ ふるさと夕張を支え、社会の担い手となる
- ◆ どこにいても 心の中に夕張があり、想いを馳せる

市民が生涯にわたって 学び続け、豊かに暮らす

いきがい

社会教育の推進

やりがい

人と人、地域
と地域をつな
ぐ生涯学習の
振 興

体 育
スポーツの
振 興

文化施設
文化財の
保護・活用

医療・福祉のみならず 社会教育の面からも

健康寿命日本一をめざす！

社会教育の推進

りすたを中心
とした笑顔と
賑わいの創出

◆ 多世代への
多様な学びの
場の充実

◆ 文化の息づか
いが感じられ
る場の工夫

生涯スポー
ツ・レクスポ
ーツの充実

◆ 市内体育施設
の指定管理に
よる適正な維
持管理

◆ 中学校部活動
における地域
展開の促進

石炭博物館の
来場者拡大

◆ 博物館関連事
業の積極的PR

◆ 夕張岳の環境
保護

◆ 歴史・文化的
価値の伝承

ご清聴ありがとうございました

福住から